



令和2年(2020年)第44週 2020年10月26日(月)~2020年11月1日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

今週(44週)は、ダニ媒介感染症の日本紅斑熱の報告が2件(今年5件)ありました。ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染するといわれ、予防策としてはマダニに咬まれないようにすることが重要です。

## ●日本紅斑熱

日本紅斑熱は、主に病原体(リケッチア)を保有するマダニに刺咬されることにより感染します。

●潜伏期間…2~8日 ●治療…対症療法

●症状…頭痛、発熱、倦怠感を伴います。発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられます。

## ◆予防法は?

・ワクチンはないため、媒介ダニの刺咬を防ぐことが極めて重要です。・草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。服は、明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)がお薦めです。DEET(ディート)やイカリジンという成分を含む虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。また、屋外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認して下さい。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などがポイントです。マダニに吸血された場合には、皮膚科などを受診してマダニを除去してもらって下さい。マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診した際にマダニに咬まれた可能性があることを伝えてください。野生動物は、どのような病原体を保有しているかわかりませんので、野生動物との接触は避けてください。

主なダニ媒介感染症【厚生労働省「ダニ媒介感染症」】ホームページより抜粋。詳しくはそちらをご覧ください。



厚生労働省  
「ダニ媒介感染症」



病名	媒介するダニ	主要症状	潜伏期間
つつが虫病	ツツガムシ	頭痛、悪寒、全身倦怠感、食欲不振、高熱、発疹(主に体幹部)重症になると肺炎や脳炎症状。	約5~14日
にほんこうはんねつ 日本紅斑熱	マダニ	頭痛、全身倦怠感、高熱、発疹。	約2~8日
重症熱性血小板減少 症候群(SFTS)	マダニ	発熱、消化器症状(嘔吐、下痢等)、時に頭痛、神経症状(意識障害、けいれん等)、呼吸器症状、出血症状。	約6~14日

期 間		2020年 43週		2020年 44週	
		10/19~10/25		10/26~11/1(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	8	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	5	0.31	7	0.44
感染性胃腸炎	➡	22	1.38	28	1.75
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	4	0.25
手足口病	➡	8	0.50	17	1.06
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	10	0.63	13	0.81
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	2	0.40	3	0.60
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00